

# コシヒカリ生育情報 第2号

**茎数急増！遅くとも田植後30日までに中干し開始！**

【6月8日生育状況】（3か所平均 平均田植日：5月17日）

草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉数(葉)		葉色(SPAD)	
本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
30	116%	155	117%	6.2	+0.5	35.2	+0.8

※6月8日の指標値は、5月30日及び6月10日の値から算出

○指標値比較【草丈：長い 茎数：多い 葉数：やや早い 葉色：並】

平場の5/10頃田植えほ場では、中干し適期を迎えているところもある。

○向こう1か月は、気温が高く平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み（6/8発表新潟地方气象台）のため、茎数の増加が加速すると予想される。

【今後の管理のポイント】

1 田植後25日頃に生育を確認し、遅くとも30日までに中干し開始！

(1) 「中干し開始茎数のめやす」に達したら、直ちに中干しを開始する。

中干し開始茎数のめやす	m <sup>2</sup> 当たり	株当たり
	280本	(50株植え)
(60株植え)		15本

(2) 中干しの遅れは、籾数過剰や倒伏につながり品質低下の要因となるため、遅れずに実施する。

(3) 「中干し開始茎数のめやす」に達しない場合であっても根の健全化を図るため、コシヒカリは田植後30日には中干しを開始する。

2 溝切りは必ず実施！

中干しの効果を高め、フェーン等の異常高温時にすみやかにかん水できるように溝切りは必ず行う。

3 補植苗の除去、農道・畦畔の除草の徹底

(1) 補植苗はいもち病の伝染源となるので、速やかに除去する。

(2) 斑点米カメムシ類の発生を抑えるため、畦畔・農道の除草を徹底する。

(3) 刈った草は用水や河川に流さないように注意する。

農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな水分と塩分の補給や休憩が大切です。